

通りがかりに互いに声をかけ合えるような、  
人と人のつながりが、元通りに復興する日に、  
今から思いを馳せています。

岩手県九戸郡野田村  
(JA新いわて組合員)

北 田 菜 一

素晴らしい出会いや、温かな支えがあったおかげで、  
私は前向きになりました。

福島県いわき市  
(JAいわき市組合員)

鷲 喜 光

作ろうとしているのは、米や野菜だけではなく、  
農業を通じた人の交流、人のつながりです。  
人の流れが生まれれば、町に活気が生まれ、お金の流れも生まれる。  
人の流れができてこそその復興です。

宮城県東松島市  
(JAいしのまき組合員)

熱海 光 太郎

町の復興へ向けて、今、  
若い人たちが懸命に頑張っています。  
少しずつ元気になる町の変化を楽しみしながら、  
私たち夫婦も笑顔でやっていますと二人で話しています。

宮城県本吉郡南三陸町  
(JA南三陸組合員)

菅原 信一  
菅原 穂子

将来、復興を引き継ぐのは子どもたちです。  
ならば、子どもたちも一緒に復興していただくことが、  
本当の復興ではないでしょうか。

岩手県大船渡市  
(JAおおふち組合員)

石川 利宏  
石川 美矢子

# ずっと助け合おう。 そのころを、忘れない。

同じ人間として支え、  
応援しようというお気持ちをお願いしたい、  
そのことがありがたかった。

福島県相馬市

(JAそま組合員)

菅野 拓 雄

一人ではここまで来られませんでしたが、  
物資だけではない、心、励まし、支え。  
だから「感謝」を肝に銘じています。

岩手県釜石市

(JAいわて花巻組合員)

小池 直 太郎

いつか必ず、あの出荷用のレインコートは着る切らないほどの、  
たくさんのおいしさを残していきたく  
みんなで力を合わせ、心を合わせて頑張りたい。

宮城県豆理郡豆理町

(JAみやぎ豆理組合員)

浅野 武 彦

振り返ると、自分でも、よくここまで来たと思います。  
無我夢中の内に過ぎていった日々。  
でも、家族のために、  
やるだけのことはやれた気がします。

福島県耶麻郡猪苗代町

(JAあいつ組合員)

棚本 義 雄

東日本大震災から3年。被災地のみなさまの声を、あなたに。

地域が復興していくとする今。互いに支え合うことや、誰かの笑顔のために一生懸命になることの大切さを、  
多くの方が改めて実感し、明日に向かって進むチカラにしています。JA共済がずっと大切にしてきた  
「みんなで助け合う」という事業理念。私たちはこれからもその理念を忘れることなく、ご加入者の共済掛金を  
被災されたご加入者のチカラとして活かすことはもちろん、全力で地域の活動を支援しつづけます。

誰かのために生きる人は強い。その思いを、これからも。



<http://www.ja-kyosai.or.jp>